

再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	砂防等事業（通常砂防事業）				
地区名	おおさわさわ 大沢沢				
事業箇所	たはらしたはらちよう 田原市田原町地内				
事業のあらまし	大沢沢は田原市田原町に位置し、保全対象として人家109戸および市道池ノ原柳ヶ丘線他9路線を抱える土石流危険渓流である。 土石流による土砂災害から人命財産及び公共施設を守るため、砂防堰堤を整備し、土砂災害対策を推進する。				
事業目標	【達成（主要）目標】 ・ 人家109戸、市道池ノ原柳ヶ丘線他9路線を土砂災害から保全する。 【副次目標】 ・ なし。				
計画変更の推移		事前評価時 (2019年度)	再評価時 (2024年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2020～2024	2020～2027		
	事業費（億円）	3.2億円	3.8億円		
	経費内訳	工事費	2.8億円	2.8億円	
		用補費	0.1億円	0.2億円	精査によるもの
		その他	0.3億円	0.8億円	精査によるもの
事業内容	砂防堰堤工 1基 渓流保全工 75m	砂防堰堤工 1基 渓流保全工 75m			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	【事前評価時の状況】 ・ 保全対象を土石流から保護する必要がある。 【再評価時の状況】 ・ 保全対象に変化はない。 【変動要因の分析】 ・ なし			
	判定	B	A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。 ※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。		
		【理由】 事業着手から必要性について変化はないため			

②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	【事業計画及び実績】										
			2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計	
	工種 区分	調査・設計	←			→						
		用地補償		←		→						
		工事				←					→	
		堰堤工				←				→		
		溪流保全工							←		→	
	事業費 (億円)	前回計画			3.2							3.2
		実績			1.7							1.7
		今回計画			1.7				2.1			3.8
		【進捗率】										
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率							
		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	進捗率(%) 【②÷③】						
		延長(km)	—	—	—	—	—					
		事業費(億円)	1.2	1.7	141.7%	3.8	44.7%					
		工事費	0.7	0.7	100.0%	2.8	25.0%					
		用補費	0.1	0.2	200.0%	0.2	100.0%					
		その他	0.4	0.8	200.0%	0.8	100.0%					
		【施工済みの内容】										
		・なし										
	2) 未着手 又は長期化の理由	・当初想定していた地形条件と現地に差異が確認され、その対応に時間を要したため。										
	3) 今後の事業進捗の見込み	【阻害要因】 ・なし 【今後の見込み】 ・阻害要因は解消されたため、工事着手し2027年には完了する見込みである。										
	判定	<p>B</p> <p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>										
		【理由】 阻害要因の解消により工事着手に至ったことで、計画通りの完成が見込まれる。										
Ⅲ 対応方針												
	継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。										
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容												

■対象（事業完了後5年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

—

【主な評価内容】

・砂防堰堤や保全対象の状況から事業効果を確認する。